

丸子地区の浸水対策に感謝!

川崎市議会議員 末永直

台風が先月の下旬にも本土を通過し、「芸術・読書・食欲」を楽しむ折角の秋だというのに雨に悩まされた近日である。芸術と言え私の好きな画家の一人、ゴッホが歌川広重の錦絵を模写した「雨の大橋」は広く知られている。昔から日本には雨がつきものであり、芸術に十二分に活かされている。

そこで、川崎市政の雨に対する浸水対策の現状と今

の質問を行った。下水道管路課長は「10年

後の取組をご報告したい。平成28年度川崎市下水道事業会計決算書によると、浸水対策事業は約19億円が計上されている。去る9月22日の決算審査特別委員会で地元中原区は丸子地区の浸水対策について主に「丸子地区の浸水対策ほどの程度の水準で整備されたのか、浸水被害を解消する仕組みはどうなっているのか」と

確率降雨、時間雨量58ミリの水準にグレードアップを図る」「本市の既往最大降雨である時間雨量92ミリの際にも、床上浸水とならな

るための既存下水管のルート変更など、一部の管布設工のほか、工事の最終的な仕上げとなる、道路復旧や区画線の設置など」に使われるとのこと。

長年、浸水によって困りだった本地域の方から「道路に水が溢れることがなくなった」との評価の声を仄聞する。これまで取り組んでこられた本市職員の方々に諸先輩議員に感謝したい。

開会となる。来る議会に向け、情報収集としての「読書」をさらに積み重ねていきたい。「芸術」を味わうためにも市民ミュージアムに行ってみようか。「食欲」はカロリー過多に繋がるので、ほどほどにしておこう。



末永直プロフィール

- 国立佐賀大学大学院 教育学研究科卒業
- 参議院議員元秘書
- 昭和58年5月27日 34歳
- 政務活動事務所 千211-0034 中原区井田中ノ町42-10 問合せ先 ☎044-789-5823

これまでにかした費用は

今月27日から12月議会が

※川崎市上下水道局作成

